

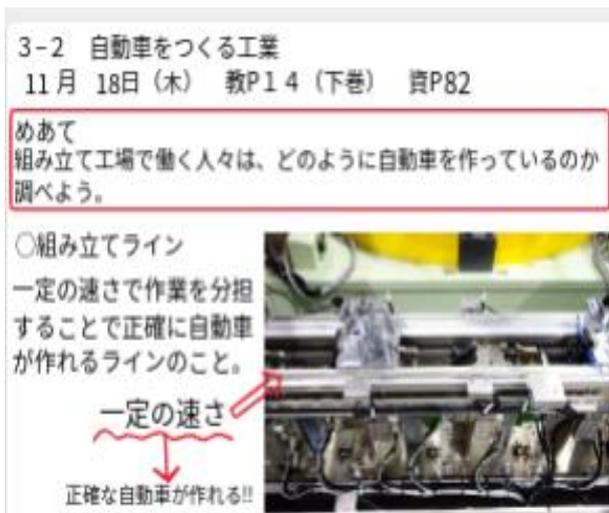
社会の学習において、まなびポケットの教育コンテンツ「スクールタクト」を活用した実践を報告します。

1 ノートで学習するか、スクールタクトで学習するか選択する

5年生では、2学期からまなびポケットの教育コンテンツ「スクールタクト」を活用した授業を行いました。1学期までは、教科書や資料集を中心に調べ学習を行っていましたが、2学期からはクロムブックを活用し、インターネットで調べる活動もするようになりました。子供たちは、単元を通してノートで学習するか、スクールタクトのテンプレートを活用するかを選択し、学習を始めます。

2 めあてに沿った調べ学習を行う

子供たちは、その日のめあてをシートの赤い枠に入力します。その後、めあてに沿った調べ学習をスタートします。NHK for school には、授業内容の関連動画が豊富にあり、子供たちは必要な情報を探すため、このサイトをよく利用していました。「自動車をつくる工業」を学習した時には、トヨタ「クルマこどもサイト」に情報が豊富にあり、よく活用していました。調べた内容は、図や写真を用いて、理解した形でシートにまとめていました。



3 学習のまとめをする

調べ学習をした後、クラスで内容を共有しました。スクールタクトでは、子供たちが一人一人のシートを閲覧できるようになっています。子供たちは、発表者のシートを閲覧しながら、自分のシートに書き加える等しました。最後に学習のまとめをシートに記入して、学習を終えます。

4 実践を振り返って

ノートで学習するか、スクールタクトを活用するか選択させた結果、学年で6名ほどノートで学習することを選択し、残りの子供たちはスクールタクトを活用していました。スクールタクトを活用し始めた頃は、たくさんの情報の中から必要な情報を探し出すことに苦労していましたが、慣れてくると、子供たちがまとめたシートから、情報検索力や、情報活用力の高まりが感じられるようになってきました。今後、更なる活用方法を検討していきます。

